

堤防浸透に関する不均質性評価WG

名称：堤防浸透に関する不均質性評価WG

期間：2020年8月～活動中（2025年12月時点）

目的：堤防の不均質性が浸透挙動に与える影響を明らかにするため、モデリング手法および調査手法の高度化を図り、堤防浸透評価手法の改善に取り組む。

委員名簿：

○新清 晃	応用地質株式会社	竹下 祐二	岡山大学大学院環境生命科学研究科
石原 雅規	土木研究所地質・地盤研究グループ(土質・振動)	西村 聡	北海道大学大学院工学研究院
河井 克之	近畿大学理工学部社会環境工学科	藤澤 和謙	京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻
栗原 朋之	中央開発株式会社	前 宗孝	基礎地盤コンサルタンツ株式会社
小島 幹生	大日本ダイヤコンサルタント株式会社	森 啓年	山口大学工学部社会建設工学科
酒匂 一成	鹿児島大学大学院理工学研究科海洋土木工学専攻	山添 誠隆	秋田工業高等専門学校創造システム工学科
澤田 豊	神戸大学大学院農学研究科	泉 典洋	北海道大学大学院工学系研究科
下川 大介	川崎地質株式会社		

○：リーダー

主な活動

- 河川堤防のボーリング調査本数が浸潤線予測に及ぼす影響に関する研究
渡良瀬川（利根上管内）、江戸川、由良川の開削調査結果を用いて実施
- 堤防開削調査結果と実測水位を用いたモデリング手法に関する研究
 - 阿武隈川左岸16.2k+130mにて開削調査実施（原位置透水試験、粒度分析、比抵抗測定、HSカメラ）
 - 阿武隈川左岸16.2k+30mにて堤体内水位の連続観測中（2023年10月～）
 - 約2年間の水位観測結果を用いた不均質性を考慮した浸透流解析を開始

堤防浸透に関する不均質性評価WG

活動状況



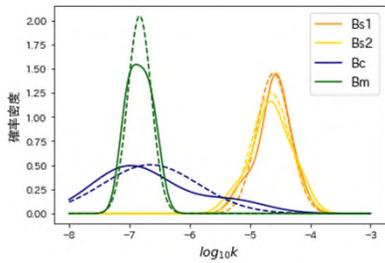
開削断面（阿武隈川左岸16.2k+130m）



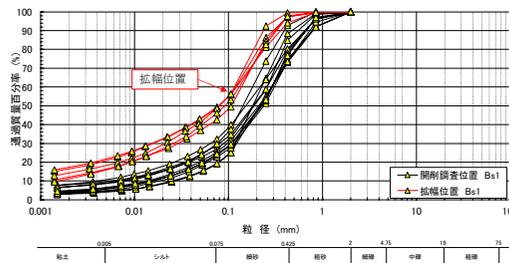
原位置透水試験の実施状況



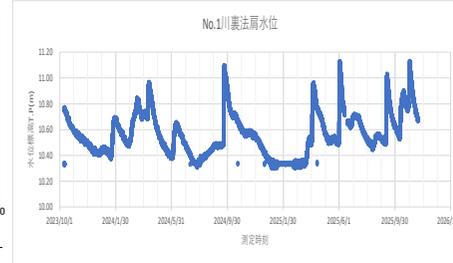
原位置透水試験の外観（左：土研式、右：竹下式）



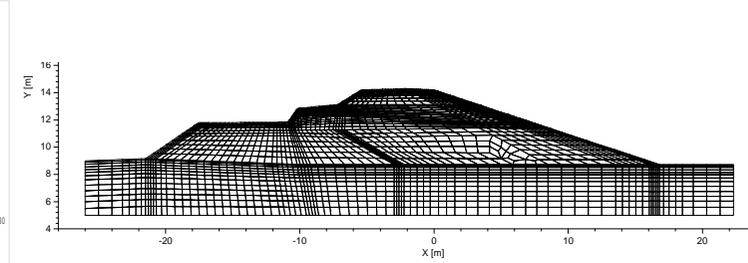
透水係数の分布



堤体材料Bs1の粒度分布



水位観測結果例



浸透流解析メッシュ

論文

- 不均質性を有す河川堤防を対象としたボーリング調査本数と浸潤線予測への影響,第11回河川堤防技術シンポジウム論文集,pp.49-52,2024.
- 河川堤防のボーリング調査本数が浸潤線予測に及ぼす影響,地盤工学会誌2025年3月号,Vol73,No.3,Ser.No.806,pp43-46,2025.